

第66期 [中間期]

SANEI REPORT

2025年4月1日 - 2025年9月30日

水をつなぐ
SANEI 株式会社

証券コード:6230
(東京証券取引所 スタンダード市場)



VERSE

Top Message

代表取締役社長
西岡 利明

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第66期[第2四半期]SANEI REPORT(中間報告書)をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間は、米国政権のいわゆる“トランプ関税”によって日本経済のみならず世界経済がその動向に左右される展開となりました。国内ではコメ不足による価格の高騰やあらゆるモノの物価高が個人消費に影響し、円安によるエネルギーや原材料費が依然として高い水準で推移したことから、内需型企業の収益にも影響が継続しております。

このような状況ではありますが、連結業績につきましては、非住宅市場へのデザイン水栓シリーズ“sanei”、ウルトラファインバブル製品や昨年リリースした予洗い水栓“プレパッシュ+(プラス)”の販売好調などあり、売上高は14,027百万円(前年比3.3%増)、営業利益667百万円(前年比0.7%増)、経常利益695百万円(前年比13.1%増)となりました。半面、プロモーション活動費の一時的な増加などがあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は440百万円(前年比6.1%減)となりました。

昨年、当社主力工場である岐阜工場(第1工場)の建て替えを終えましたが、今年は第2工場を新設しており、工場の自動化・バリアフリー化を推進し、生産拠点のさらなる効率化を進めております(今年12月竣工予定)。また、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとした大阪・関西万博に、会場整備として協賛参加させていただきました。会場内の手洗い施設にセンサー水栓(自動水栓)など700台あまりを設置し、約半年間、延べ約2,500万人の来場者の皆様に、快適にお過ごしいただきました。

9月には「OSAKA FUORI SALONE 2025」と題し、1週間にわたり、大阪の街を舞台にした都市型デザインイベントに参画しました。これは大阪市と姉妹都市であるイタリア/ミラノ市の「フォーリサローネ」の精神を受け継ぎ、「陶醉するライフスタイル」をテーマに

建築やデザインの枠を超えて、ものづくりに情熱を注ぐ企業・団体・個人などが集結し豊かな文化を発信するものとなりました。

また、当社は岐阜県飛騨市の地域共創を目的とした「Co-Innovation Valley(略称CoIV)プロジェクト」に参画しております。本プロジェクトは、2027年開業予定の共創拠点「soranotani」(藤本壮介氏設計)の開発を中心に進められており、同拠点には商業施設、温浴施設、子供向け遊び場などが整備され、地域の交流促進と活性化を目指しています。プロジェクトには2026年4月開学予定のコー・イノベーション大学「CoIU:コアイユー」も含まれており、設立を支援する「飛騨古川駅東開発株式会社」を通じて、教育分野への貢献も行います。当社のコーポレートメッセージでもある「水をつなぐ」の一環として、まちづくり・ひとづくり活動に賛同し、共創拠点での取り組みに対する協力や水まわり製品の提供などを通じて、地域社会とともに進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

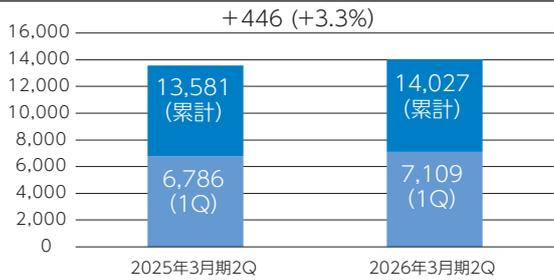


2027年開業予定の共創拠点「soranotani」

業績サマリー

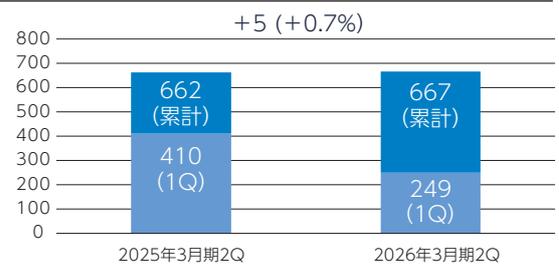
第2四半期は前年比増収・減益

売上高 (累計) 百万円



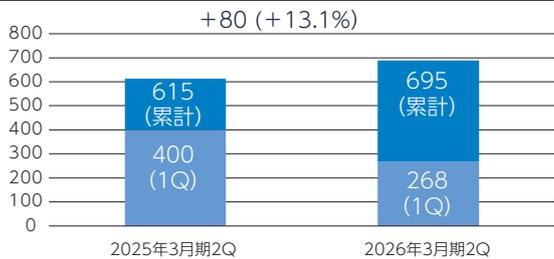
増収の主な要因は、予洗い水栓「プレパシユ+（プラス）」や混合栓「EDDIES」「YORI SUTTO」シリーズが好調でした。リテールルートでは新製品の「IENI」シリーズ混合栓が好調なスタートをきり、ECサイトではウルトラファインパブルシャワーヘッドが売り上げを伸ばしました。

営業利益 (累計) 百万円

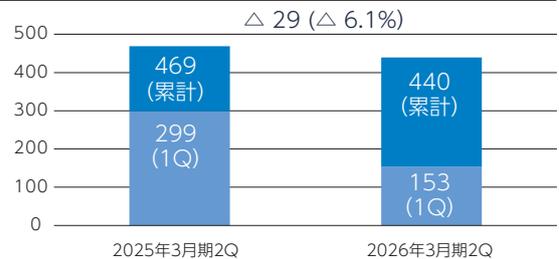


利益に関しては、住宅市場の落ち込みに加えて、原材料価格の高止まり、万博関連費用等の計上により、親会社株主に帰属する中間純利益は、売上原価の高止まりなどが影響し、約6%の減益となりました。

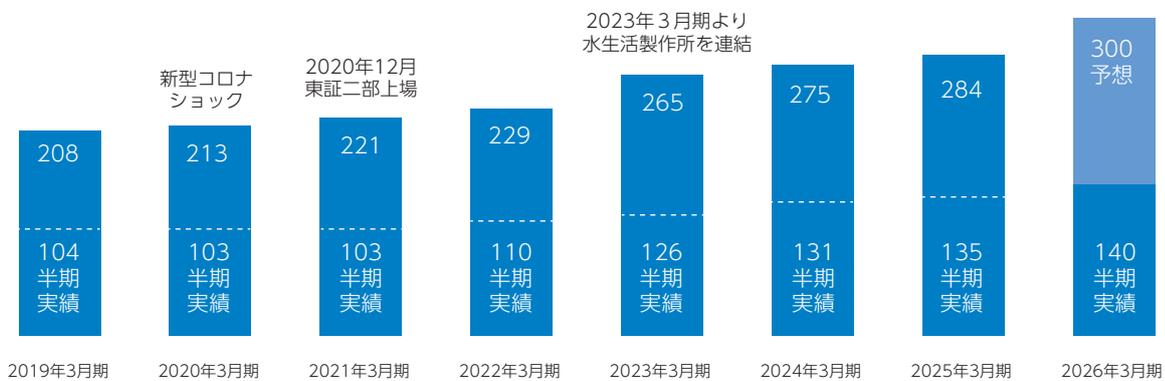
経常利益 (累計) 百万円



親会社株主に帰属する中間純利益 (累計) 百万円



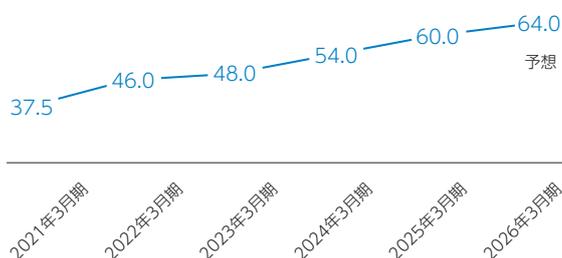
売上推移 (連結) 億円



年間配当金と配当性向

2026年3月期の配当金は、中間期で32円、通期64円を予定しています。当社は、将来にわたり安定的な株主還元を実現するため、「累進配当方針」の導入を2024年6月25日に公表しました。

年間配当金 (円)



配当性向 (1株当たりの配当額 ÷ 1株当たりの当期純利益 × 100) %



2024年10月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。株価および1株当たりの数値は全て分割後を基準に換算しています。



Grazioso



grooglo



reddot winner 2025
best of the best



“レッドドット” デザイン賞の
“ベスト オブ ザ ベスト” を2年連続で受賞

「Grazioso」シリーズは“iF デザインアワード 2025”と“reddot デザインアワード2025”のバス部門で唯一選ばれる“best of the best”を受賞しました。昨年受賞した「soroe」シリーズに続き、2年連続での“best of the best”受賞となりました。「grooglo」シリーズは“iF デザインアワード 2025”を受賞しました。

※“iF”と“reddot”デザイン賞はドイツで70年以上の歴史を誇り、世界3大デザインアワードと呼ばれています。

BRAND PORTFOLIO

SANEI

VERSE
LUXURY

grooglo

Grazioso

sanei
DESIGNER COLLABORATION

soroe

YORI
SUTTO



EDDIES

marfo

cye

SUTTO

TOH

MONOTON

ROFFINÉ

SANEI
STANDARD

IENI

ordina+

toccata

column

いちりん

Etc.

WAILEA

KITCHEN & BASIN

FLUSSO

BATHROOM

SHOW ROOMS



WAILEA 御堂筋



FLUSSO 青山

WAILEA

<https://www.wailea-club.com/>

「WAILEA」は既成概念にとらわれることなく、ライフスタイルに合わせて水まわり空間をデザインいたします。洗面、バスルームだけでなく、キッチンやリビングまでもが一体になった自由な空間。さらにその空間への家具や雑貨、アメニティなどもトータルでご提案いたします。



FLUSSO

<https://www.flusso.design/>

世界に向けてラグジュアリーなバスルームをご提案するブランド「FLUSSO」(フルッソ)。一つの小宇宙であるバスルームがもたらす極上のリラクゼーション。悠久の流れに調和し、バスルームはもっと自由な感性で愉しむ空間へと変貌します。





9月13日18時：テレビ東京系列「知られざるガリバー ～エクセレントカンパニーファイル～」にて当社が紹介されました。

※トラスコ中山株式会社の許諾を得て使用しております。無断転載・加工はご遠慮ください。



9月10日～16日にかけてOSAKA FUORI SALONEが開催されました。オープニングセレモニーを開催。イベントディレクターを務める当社の社外取締役で建築家・永山祐子氏、株式会社UNION代表取締役・立野純三氏、当社代表取締役社長・西岡の3名によるトークセッションが行われました。

イベント報告



インテリアの国際見本市「LIVING & DESIGN 2025」に「VERSE」ブランドを出展しました。家具や住宅、インテリアに関わる業界関係者と商談を行いました。

9月3日～5日：東京ビッグサイト



「管工機材・設備総合展」に出展。「ファインバブルがある暮らし」をテーマに、シャワーヘッドやキッチン混合栓、洗濯機用水栓など体感いただける展示が好評をいただきました。

第57回 管工機材・設備総合展 (8月6日～8日 東京ビッグサイト)

第22回 管工機材・設備総合展 OSAKA 2025 (9月11日～13日インテックス大阪)



「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2025」に出展。混合栓の「IENI」シリーズ、ファインバブル技術を活用した洗濯機関連製品、累計出荷本数280万本を誇る人気のシャワーヘッド「RAINNY」シリーズなど、多くの方に体感いただく機会となりました。

8月21日～23日：幕張メッセ国際展示場

「点」としての始まり

水は人が生きていく上で欠かすことのできないものであり、現代の日常は水道なしでは成り立ちません。

水栓は生活との「接点」、「要」としての考えのもと、三栄水栓製作所（現 SANEI）は草創期から積極的な商品開発に取り組んできました。

「点」から「線」へ

1980年代には水栓のみならず、建物内の給水・排水の環境をトータルにプロデュースできる体制を確立。表からは見えなくても、それぞれが適材適所で使われ、かけがえのない流れを暮らしの中で支えてきました。

「線」から「面」へ

2000年代頃から提案の領域は「面」へと広がり、デザイン水栓や、空間・ライフスタイルへの提案が高い評価を獲得。また、持続可能な社会の実現に向けて積極的に責任を果たすべく取り組みを進めています。



1954

若き3名での創業

当時20代の西岡明、吉川弘二、橋本健一の3名により創業。「三栄」の社名の由来となりました。



1980

水栓から配管までトータルに提供

幅広い商品展開と全国規模の販売ネットワークで、水まわり用品の総合メーカーへと発展しました。



2018

SANEI株式会社へ社名変更

水栓にとどまらない広がりを持たせた社名は、海外での名称との統一を図ったものでもあります。



コラムサイト「MIZUBA」をリニューアルオープン

「MIZUBA」は、「水」と人をつなぐオウンドメディアです。水にまつわる風景や文化、ものづくりの背景にある思想をとおして、“水と人の物語”を伝えていきます。



<https://mizuba.sanei.ltd/>

水をつなぐ

SANEI株式会社

事業内容	給水栓・給排水金具・継手および配管部材の製造販売
創業	1954年（昭和29年）9月
代表者	代表取締役社長 西岡 利明
本社	大阪市東成区玉津1丁目12番29号
資本金	432百万円 ※2025年3月末時点
連結業績	売上高：28,465百万円 経常利益：1,842百万円 ※2025年3月期
従業員	連結：845名 単体：642名 ※2025年3月末時点
グループ会社	株式会社アクアエンジニアリング 大連三栄水栓有限公司 株式会社水生活製作所



<https://www.sanei.ltd/>